

報道関係各位

nissen

2025年12月15日

**ニッセンの”異世界ギルド”プロジェクトから魔獣『フェンリル』を
イメージしたブランケットが登場。12月15日に予約販売を開始しました。
初回特典や特別コンテンツの情報はニッセン公式SNSで公開中！**



株式会社ニッセン(本社:京都市南区、代表取締役社長:羽渕 淳)の”異世界”をテーマにしたプロジェクト「異世界ギルド」から、「まるでフェンリル!のような4WAYブランケット」が2025年12月15日(月)に、ニッセンオンラインショップ(<https://www.nissen.co.jp/>)で予約販売を開始いたしました。

本商品は、北欧神話に登場する魔獣「フェンリル」をイメージして独自に開発。手触りの良さはもちろんのこと、空想上の魔獣を使役する”リアルファンタジー体験”をお愉しみいただけるように、商品デザインやパッケージなど細部にまでこだわりました。また、特設サイトでは、”異世界”で魔獣を使役するという世界観に没入できるコンテンツも公開中です。

▼ニッセン公式Xはこちら(@nissen) : <https://x.com/nissen>

▼ニッセン公式Xが運営する「異世界ギルド」はこちら : <https://www.nissen.co.jp/s/all/PL25SU119/>

商品概要 : まるでフェンリル!のような4WAYブランケット(フェンリルFeel)



▼商品販売ページはこちら

<https://www.nissen.co.jp/item/VAP0125E0039>

伝説の魔獣「フェンリル」を討伐し、その毛皮で作ったという世界観を忠実に再現したブランケットです。長短異なる毛並みとニッセンオリジナルの染色による複雑なグラデーションは、まるで生きているかのような神聖な毛色と重厚感を放ちます。

威圧的な見た目ながら肌触りは極めて滑らか。牙を模したトグルや着脱可能な尻尾など細部までこだわり抜き、ポンチョやボレロ、クッションなど4つの形態で、魔獣を身にまとう高揚感をお愉しみいただけます。

さらに、初回特典として本体と同素材の「アームカバー(終焉のガントレット)」を特別同梱。コーディネートしてお愉しみいただけます。なお、対象期間は、2026年1月13日(火)11:00ご注文まで。先着300個に達した時点で、特典期間内であってもプレゼントは終了いたします。

商品番号:VAP0125E0039

サイズ:ブランケット=(約)幅×長さ:100×160cm、アームカバー=(約)幅×長さ:14×20cm

カラー:1色(フェンリル)

基本価格:¥8,789(税込) ※基本価格は販売開始当初の価格です。

品質:表地=ポリエステル100% 裏地=ポリエステル100%

※素材の特性上、ご使用中の摩擦により毛羽落ち毛玉が発生し、他のものに付着することがあります。



開発経緯

きっかけは、公式X(旧Twitter)アカウント運用担当者の、何気ない一言。『猫フィール』の開発技術で、他の生物も再現してほしい——そのつぶやきが、多くの反響を呼び、プロジェクト立ち上げの火種となりました。

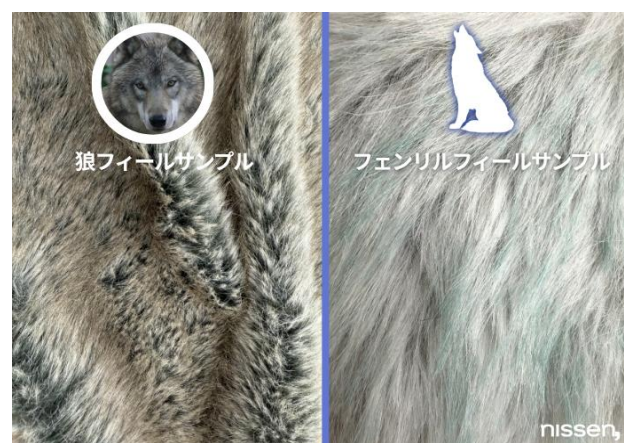
開発のテーマは、北欧神話に登場する狼の姿をした巨大な魔獣「フェンリル」。

実在しない伝説上の生物を“再現”するという無謀ともいえる挑戦に、『猫フィール』の開発スタッフが集結しました。毛並みの質感や毛色を再現するために、動物園に通い、狼を研究。その結果、手触りの良さで大好評の『猫フィール』とは、手触りも見た目も全く異なる『狼フィール』が誕生。このリアルな『狼フィール』をもとに、「フェンリル」の毛色イメージについてプロジェクトスタッフで検討。

実在しない伝説上の生物を“再現”するという無謀な挑戦に全力で取り組み、まるで異世界から現れたかのような“リアルファンタジー体験”をお届けする『フェンリルフィール』が誕生しました。

ニッセンの「異世界ギルド」では、世界観の構築と関連コンテンツの提供により、お客様が楽しみながら参加できるプロジェクトを目指しています。商品開発の過程も公開しているので、ぜひ、のぞいてみてください。

▼ニッセン公式Xが運営する「異世界ギルド」はこちら：<https://www.nissen.co.jp/s/all/PL25SU119/>



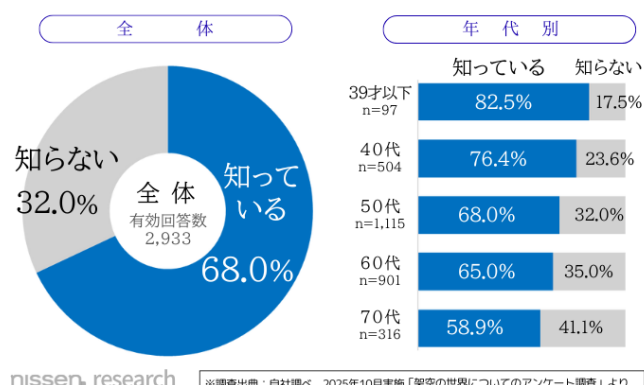
独自調査で判明！中年もシニアも6割が知っている。日本人に浸透していると言っても過言ではない『異世界』モノ。

ニッセンが運営するリサーチ専用サイト「ニッセンリサーチ」にて3,000人以上の会員を対象に実施。

今回の調査では、「異世界」という言葉の認知率が全体で68%に達し、特に39歳以下では8割を超える結果となりました。50代でも68%、70代でも約6割が認知しており、“異世界モノ”はもはや一部のファン層にとどまらず、幅広い世代に浸透していることが明らかになりました。

「異世界」を知ったきっかけとしては「アニメ」「漫画」「小説・ライトノベル」が上位を占め、60代以上でも“テレビやネットニュースよりアニメで知った”という回答が多く見られました。今や「異世界」はメディア横断的に共有される文化となりつつあります。この結果は、ファンタジーや非現実の世界観が、年齢や性別を越えて多くの人々に“癒し”や“ときめき”を与えていることを示唆しています。

Q「異世界」という言葉を知っていますか？



nissen, research

※調査出典：自社調べ 2025年10月実施「架空の世界についてのアンケート調査」より

【調査概要】

調査対象：ニッセンリサーチ会員 20歳～79歳までの男女
調査機関：自社調査 調査期間：2025年10月

調査方法：インターネットによる任意回答
有効回答数：2,933件

▼マスコミ関係者からのお問い合わせ先

株式会社ニッセンホールディングス 管理本部 広報担当 E-mail: nissen-koho@nissen.co.jp